

取扱説明書

モテロウ マニホールドキット R410A/R32 用 ホース付き

注文コード：12008160

このたびは、マニホールドキット R410A/R32用 ホース付きをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

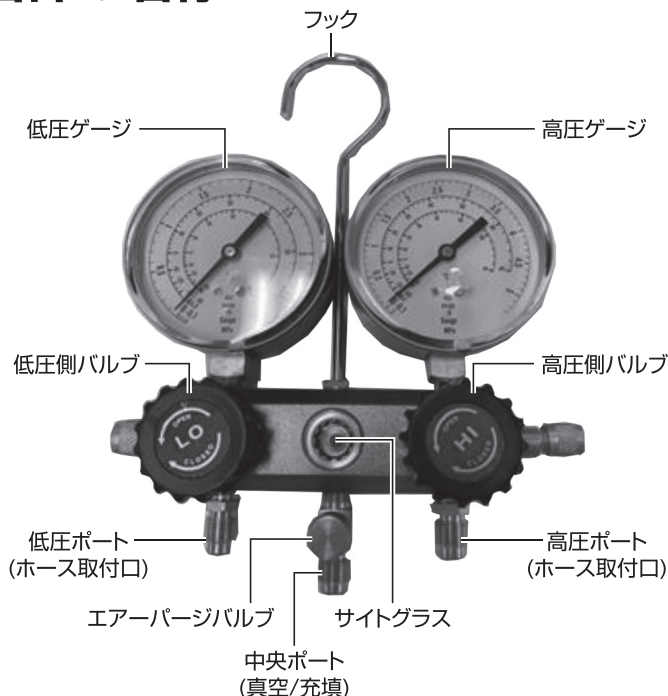
警告

- 対応冷媒以外の冷媒を充てんするなど、本来の用途以外には使用しないでください。
- 本製品は、高压ガスを取り扱うため、使用方法を誤ると爆発などの重大な危険がありますので、必ず警告、注意事項をお守り使用してください。
- ホース内に、液状フルオロカーボンが満杯になった状態でホースの両端をバルブ等でしめないようにしてください。
- 冷媒ガスの取り扱いは、ガス缶に表示されている指示に従ってください。
- 作業場の環境を考慮のうえ、周囲への安全をよく確認して 事故防止に努めてください。
- 作業時は適した服装で行ってください。(安全靴、ヘルメット、手袋、保護メガネ、作業服などの着用)
- 雨天および雷鳴時は使用しないでください。感電やケガをするおそれがあります。
- 火気に近づけず、換気の良い場所で作業をするようにしてください。
- 40℃以上になる場所で運転や保管をしないでください。
- 作業中は作業者以外は、ケガをするおそれがあるので、作業場に近づかないでください。
- やけどをするおそれがありますので、運転中および運転停止直後には、真空ポンプのモーター、ポンプヘッドには触れないでください。
- 小さなお子様の手が届かない場所に収納してください。

注意

- 機器の損傷の原因となりますので、対象物の内圧が、大気圧近くまで低くなったことを確認してからポンプとの接続を行ってください。
- 使用前に錆・亀裂・傷や変形がないか確認してください。損傷したまま使用すると、事故の原因になります。
- 本製品を使用しない時は、乾燥した場所で保管してください。
- 落としたり、強い振動を与えますと、誤作動、精度不良や破損の原因になります。
- マニホールド本体とチャージホースは、使用する冷媒の種類に合わせ、違う冷媒と混用はしないでください。
- ホースを外す際にはフロンガスの噴出に注意してください。

2 各部の名称



【付属品】



チャージホース
(赤・青・黄×各1本)



収納ケース

■仕様

接続口径	(チャージホース)5/16フレア
材質(本体)	(マニホールド)アルミ、(継手)真鍮
材質(ホース)	NBR
常用圧力(MPa)	5.5
使用冷媒	R410A、R32
圧力計(MPa)	-1~5.3(高压側)
連成計(MPa)	-1~3.8(低压側)
接続ポート径	(マニホールドキット本体)5/16フレア
付属品	チャージホース(赤、青、黄×各1本)、収納ケース

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

3 使い方

■ 準備

- 1 マニホールドの高圧側・低圧側バルブを閉じゲージの指針が0を指していることを確認してください。指針が0を指していない時は、0点調整をしてください。
- 2 機器側とマニホールドの高圧側と低圧側をチャージホースで接続してください。(45°ナットを機器側に接続してください。)

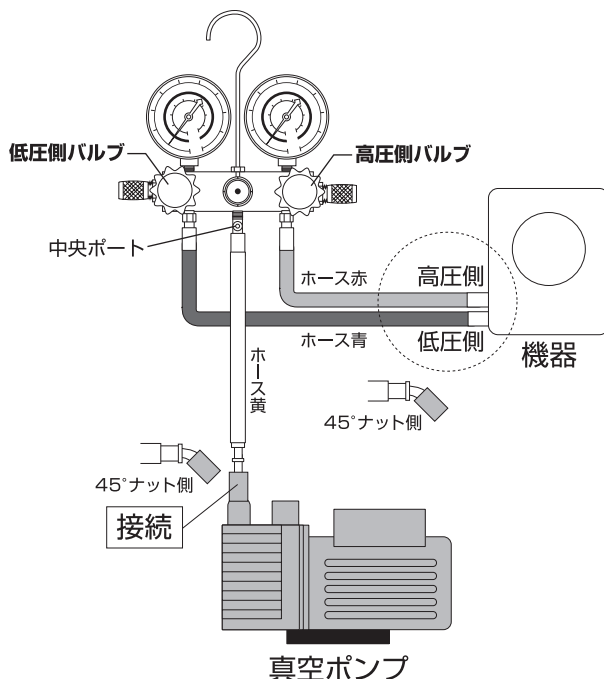
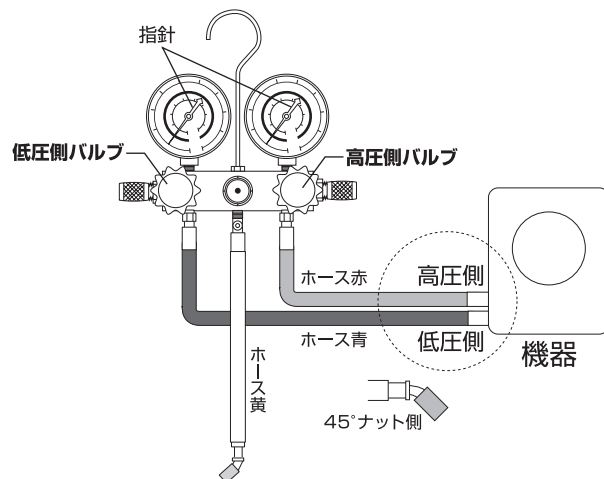
■ ゲージの0点調整

- 1 キャップを取外します。
- 2 指針が目盛りの0になるように調整ネジをマイナスドライバーで回します。
[+方向]……左へ回します。 [-方向]……右へ回します。
- 3 調整が終了したら、キャップを取り付けてください。



■ 真空引き作業

- 1 機器側に圧力がかかっていないことを確認してください。
- 2 マニホールドの中央ポートと真空ポンプをチャージホースで接続してください。
- 3 マニホールドの高圧側・低圧側バルブを開き真空ポンプを運転してください。
- 4 低圧ゲージが真空を指しているか確認してください。
※ 真空引きの時間は各機器メーカーのサービスマニュアルを参照してください。
- 5 高圧側・低圧側バルブを閉じてから、真空ポンプを停止してください。
- 6 低圧・高圧ゲージが、各機器のメーカーマニュアルに指示された時間内に OMPaに戻らないことを確認してください。



■ フロンガス充填

- 1 機器側のポートとマニホールドの高圧・低圧ポートをチャージングホースで接続してください。
- 2 真空ポンプに接続されているホースを外し、冷媒ボンベと接続し、バルブを開いてください。
- 3 マニホールドの中央ポートに接続されているナットを緩めて、ホース内の空気を抜いてください。

⚠ 警告

- 冷媒ガスが噴き出すため、顔を近づけないでください。

- 4 マニホールドの高圧側を開きます。
- 5 規定の充てん量に達する前に、圧力が均衡して充てんできない場合は、高圧側のマニホールドと機器側のバルブを閉じて低圧側のマニホールドと機器側のバルブを開いて低圧側から吸入してください。
- 6 規定量の充てんが完了したら冷媒ボンベとマニホールドの各バルブを閉じてください。

⚠ 注意

- ホースを外す時はホース内に残ったフロンガスの噴き出しに注意してください。

